

## 公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アプリ児童デイサービス鴨居ルーム		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 5日		～ 2026年 1月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 5日		～ 2026年 1月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様から信頼のお言葉を多くいただいている ・子供を安心して預けられる ・療育が専門的 ・関係機関との連携が充実 ・何でも相談でき明確な回答をもらえる	子どもの自己選択・意思決定支援 専門支援の知識、学び、経験ができる 外部研修への積極的参加 管理職・一般職関係なく外部機関との関係作り 児童・保護者の目線に立った考え	専門職としてのスキルアップ 立場や役職に関係なく支援への取り組み
2	多様な特性を持つ児童が、事業所という小さな社会で 様々な経験ができる	障害特性だけの本人支援ではなく、家族支援や地域連携 の支援、また困難事例についても積極的に取り組んでいる。 どの障害・家庭環境でも支援や対応が出来るように、 普段から学びと経験、支援会議、共有を心がけている	知識技術の向上だけでなく実践の中でチームとしての支 援の強化を図る
3	意見や考えを言いやすく、トライできる	特定の職員の意見や考えで支援や業務が決まるのではな く、必ず全体に回り、職員同士で意見や考えも言いやす く、「是非はともかくやってみる」を心がけている。	継続してPDCAサイクルを回していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の少なさ	一部の児童の地域活動に参加はし、またお散歩支援やお 出かけ支援を提供し、小さな地域交流は提供しているも のの、より広い意味の地域交流は提供できない	自立支援協議会や社会福祉協議会、地域活動事業所など の情報を共有し、児童の地域交流の機会を提供する
2	バリアフリー化されていない	事業所の構造上、バリアフリー化をすることが難しく、 これ以上の改善には様々なハードルがある	可能な限りバリアフリー化できる箇所は変更する
3			